

令和 5 年度 事業報告書

令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

I. 事業活動

概 況

令和 5 年度は、米国の物価上昇も前年度に比べ落ち着きを見せていることから、政策金利の引き下げの時期に関心に移るものの、為替市場ではドル高が続き、対円では 1 米ドル 150 円を超える水準まで円安が進んだことから、日本経済及び金融市場に大きな影響を与えるところとなりました。一方で中東情勢の緊迫化により、世界経済や金融市場の先行きに大きな不安を抱える状況となりました。

このような状況下、今年度は、当法人の主要な収入源である基本財産の株式配当は、139,875 千円で前年度比 27,292 千円の大幅な増加となりました。また特定資産の運用では、為替が円安で推移したことに加え日米ともに株式市場の好調もあり、投資信託等の売却益を計上しました。

次に支出面では、経常費用が 60,078 千円で、このうち事業費は、奨学生 54 名に対する支給額が 34,500 千円で、在籍生の増加により前年度比 3,720 千円増加しました。また補導費の支出は 6,061 千円で、会誌の発行を行ったほか、奨学生の集い、新奨学生歓迎会及び卒業生歓送会など交流事業で参加者の増加や会場費用の増加もあり前年度を上回りました。一方管理費は前年並みに留まり、この結果、経常費用総額としては、前年度を 5,313 千円上回りました。

また資産面では、基本財産の時価が前年に引き続き大幅に上昇し評価益を 1,490 百万円計上した他、特定資産も米国金利のピークアウトや円安の進行もあり外貨建債券等の上昇もあり評価益を計上することとなりました。この結果期末の正味財産残高は 5,336,073 千円と前年度比 1,634 百万円増加しました。

1. 奨学金支給事業

(1) 奨学金の給付

育英事業の中心である奨学金は、毎月口座振込により給付しました。また奨学生の状況確認の面談をオンラインで行ない、必要により指導助言を行いました。

	給付人数	給付額（年額）	うち新奨学生	1人当たり給付額（月額）
大学生	39名	21,900千円	13名	5万円
大学院生	15名	12,600千円	-	7万円
合計	54名	34,500千円		

（注）1. 給付人数には、期中に奨学金を停止、または再開した学生を含み、留年の学生を除いております。

2. 6年制大学の5及び6年生は大学院生に含めております。

(2) 奨学生の採用

新奨学生の採用につきましては、推薦を依頼した各大学より13名の学生が推薦されました。令和5年6月に当財団の奨学生選考委員会が選考し、13名全員を奨学生として採用しました。

また大学院生につきましては、奨学金継続を希望する学生7名が再選考の上採用されました。

	大学生	継続大学院生	採用人数計
採用人数	13名	7名	20名

（注） 令和5年度採用奨学生の推薦大学は、次の通りです。

国立大学：京都大学、東京大学、東北大学、一橋大学

私立大学：慶應義塾大学、工学院大学、上智大学、東京理科大学

中央大学、明治大学、立教大学、早稲田大学

2. 交流事業

(1) 第1回奨学金給付式及び新奨学生歓迎会

令和5年度は13名の新奨学生を迎え、事務所において第1回給付式を行いました。給付式後、在籍生も含めバスツアーを行い、首都圏外郭放水路及び国立新美術館を見学、表参道を散策後、中国料理店での懇親の夕食会へと続き和やかに交流しました。

(2) 北澤育英会会誌の発行

北澤育英会会誌第48号を令和5年11月に発行しました。新奨学生を含む在籍生、令和4年度卒業生及び社会で活躍している先輩卒業生、理事・評議員にご寄稿を頂きました。令和5年度採用奨学生の第1回給付式及びその後のバスツアー・懇親会の様子、令和4年度の奨学生の集いの様子や卒業生を送る歓送会の様子について紹介しました。また本誌を奨学生及びその保護者、卒業奨学生、奨学生在籍校、交流のある育英団体さらに関係先等に送付し、当法人に対する支援と理解を深めて頂けるよう努めました。

(3) 「第48回奨学生の集い」開催

「第48回奨学生の集い」は、令和5年12月に、京王プラザホテルで約100名が参加し開催しました。また英国やアセアンからの奨学基金の留学生も参加し交流しました。ゲームや食事なども楽しみ、和やかに交流が出来たことで、大変好評でした。今回も3年生の幹事団が開催の準備、当日の運営を担当しました。

(4) 「卒業生歓送会」開催

令和5年度の卒業奨学生を送る「卒業生歓送会」は、令和6年3月に、卒業生に加え在籍生も参加して、社会への門出を祝いました。卒業生9名中7名を含む38名が参加し、育英会の思い出や今後の抱負などを語り和やかな会となりました。また全員が色紙に思いを書き込み、卒業生には記念品を贈呈しました。

II. 管理活動

1. 届出事項

届出年月日	届出事項（届出先）
令和 5 年 6 月 29 日	令和 4 年度の事業報告等の提出（内閣府）
令和 5 年 7 月 28 日	役員変更の届出（内閣府）
令和 6 年 3 月 1 日	公益目的事業の内容の変更（内閣府）
令和 6 年 3 月 4 日	令和 6 年度の事業計画書等の提出（内閣府）

2. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	決議事項	結果
令和 5 年 5 月 30 日	（決議事項） 1. 令和 4 年度（令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで）の事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書及びその附属明細書並びに財産目録の承認の件 2. 令和 5 年度定時評議員会招集及び附議事項承認の件 3. 評議員候補者承認の件 4. 理事候補者承認の件 5. 監事候補者承認の件 6. 奨学生選考委員選任の件 （報告事項） 理事長及び常務理事の業務執行報告	可決 可決
令和 5 年 6 月 15 日	（決議事項） 1. 代表理事及び業務執行理事選定の件 2. 令和 5 年採用奨学生承認の件	可決 可決

開催年月日	決議事項	結果
令和 5 年 6 月 15 日	(報告事項) 理事長及び常務理事の業務執行報告	
令和 6 年 2 月 27 日	(決議事項) 1. 奨学規程改訂の件 2. 「令和 6 年度（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）の事業計画書及び収支予算書等」案の承認の件 3. 基本財産株式の議決権行使の件 4. 役員等報酬増額の件 (報告事項) 理事長及び常務理事の業務執行報告	可決 可決 可決 可決

(2) 評議員会

開催年月日	決議事項	結果
令和 5 年 6 月 15 日	(報告事項) 令和 4 年度（令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで）の事業報告 (決議事項) 1. 令和 4 年度（令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで）の貸借対照表、正味財産増減計算書及びその附属明細書並びに財産目録の承認の件 2. 評議員選任の件 3. 理事選任の件 4. 監事選任の件	可決 可決 可決 可決 可決

2. 奨学生選考委員会

開催年月日	内 容
令和5年6月15日	(審議事項) 1. 令和5年度の新奨学生選考の件 2. 令和5年度継続奨学生選考の件

3. 役員等の職務等に関する事項

役 職	氏 名	就任年月日	給与	勤務
理 事 長	清 水 雄 輔	令和5年6月15日	あり	常勤
常 務 理 事	葩 島 純 一 郎	令和5年6月15日	あり	常勤
理 事	野 村 稔	令和5年6月15日	なし	非常勤
理 事	小 杉 丈 夫	令和5年6月15日	なし	非常勤
理 事	久 保 庭 啓 一 郎	令和5年6月15日	なし	非常勤
理 事	岡 本 昂	令和5年6月15日	なし	非常勤
監 事	上 野 紘 志	令和5年6月15日	なし	非常勤
監 事	太 田 睦	令和5年6月15日	なし	非常勤
評 議 員	岡 野 或 男	令和5年6月15日	なし	非常勤
評 議 員	北 澤 一 男	令和5年6月15日	なし	非常勤
評 議 員	金 子 ゆ か り	令和5年6月15日	なし	非常勤
評 議 員	辰 野 守 彦	令和5年6月15日	なし	非常勤
評 議 員	戸 矢 博 道	令和5年6月15日	なし	非常勤
評 議 員	中 村 清 次	令和5年6月15日	なし	非常勤
評 議 員	篠 田 紘 明	令和5年6月15日	なし	非常勤
評 議 員	原 田 穰	令和5年6月15日	なし	非常勤
評 議 員	橋 本 政 昭	令和5年6月15日	なし	非常勤
奨学生選考委員	尾 崎 洋 二	令和5年5月30日	なし	非常勤

役 職	氏 名	就任年月日	給与	勤務
奨学生選考委員	佐 藤 次 郎	令和 5 年 5 月 30 日	なし	非常勤
奨学生選考委員	須 賀 恭 子	令和 5 年 5 月 30 日	なし	非常勤
奨学生選考委員	八 木 尚 志	令和 5 年 5 月 30 日	なし	非常勤
奨学生選考委員	根 本 則 道	令和 5 年 5 月 30 日	なし	非常勤
奨学生選考委員	上 村 芳 三	令和 5 年 5 月 30 日	なし	非常勤

(注) 評議員の鈴木照氏は当期中に逝去されました。

3. 許認可に関する事項

該当事項はありません。

以上